

YAKUGAKU ZASSHI 投稿規定

投稿論文は、その内容が未投稿及び未掲載であって、独創的な知見を含むものに限り、すべての著者は原稿の内容を理解していること、投稿について同意していることが必要です。なお、日本薬学会の会員以外からの投稿も受け付けます。

投稿は原則として日本薬学会ホームページの電子投稿システムで行ってください。

I. 論文種別

原著論文には一般論文、ノート、ケースレポートがあり、総説論文には一般総説と依頼総説があります。

論文は原則として和文としますが、臨床薬学領域（※）に関する原著論文は英文による投稿・発表もできます。

※臨床薬学領域：医療薬学、臨床分析生化学、臨床薬物治療学、薬学教育に関するもので特に病院、薬局の薬剤師業務や薬剤師教育等に直接関与する領域。

1. 総説論文

(1) 一般総説：著者の研究に関する最近の成果・知見をまとめたもので、主題が明確で、まとまった結論や検証が整ったもの。著者の研究成果が引用文献に必ず引用されていること。

(2) 依頼総説：編集委員会が執筆依頼する論文。

2. 一般論文：独創的な研究から得られた有意義な新しい知見を含む論文。

3. ノート：断片的な研究であっても、価値のある新しい知見を含む論文。

4. ケースレポート：調査研究、症例研究等で得られた新しい知見や有意義なデータを含む論文。原則刷り上がり4頁以内。

II. 原稿様式

1. カバーレター

和文の連絡著者情報（連絡著者名、所属機関及び住所、電話番号、Fax 番号、E-mail アドレス）、英文チェックを受けたネイティブスピーカーの名前または業者名を記載してください。

2. 原稿

原稿は本文、図、表をそれぞれ別のファイルで作成してください。

本文のフォントは MS 明朝または Times New Roman の 12 ポイントを用い、化合物番号、数字はすべてアラビア数字を使用してください。用紙は A4 判（縦・横・併用可）を使用してください。

内容を十分に理解出来るネイティブスピーカーによって英文チェックを受けた後投稿してください。但し審査の結果によっては本学会での英文チェック（有料）を行います。

(1) 第 1 頁：誌名（YAKUGAKU ZASSHI）、論文種別を記載してください。

論文表題、著者名（フルネーム）、研究時の所属機関、所在地、郵便番号について和英併記で記載してください。連絡著者はその名前の右肩にアスタリスク（*）を付し、脚注に E-mail アドレスを記載してください。所属機関が現在と異なる場合は名前の右側にダガー（†）を付し、脚注に現在の所属、所在地を記載してください。

(2) 第 2 頁：抄録（英文で 250 語以下、ただし本文が英文の場合はさらに和文で 500 字以下の抄録も必要です）及び 3~6 語（英語）のキーワードを記入してください。キーワードには略語を使用しないでください。

なお、最初の 3 つのキーワードを組み合わせるキーワードコンビネーション（合計 80 文字以内、スペース・セミコロン含む）が作成されますので、語句の選定と順番（重要度の順番）にご注意ください。

(3) 第 3 頁以降：本文、謝辞、利益相反、引用文献の順に記載してください。図・表等の内容と説明文は英文で記載してください。

3. 補足的資料（Supplementary materials）

補足的資料がある場合、「Supplementary materials」と見出しを付けて、本文の最後（利益相反の後）に「この論文のオンラインに Supplementary materials（電子付録）を含んでいます」と記載してください。

4. 論文審査のための資料（Additional information for review）

論文の審査に必要な補足資料は、電子投稿システムで Additional information for review として PDF ファイルを添付してください。

III. 記載方法

1. 所属機関

著者の所属機関が複数の場合は、上付の a, b, c..., を著者名の後及び所属機関の前に付してください。

(例)

^aDepartment of Molecular Biology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Hokkaido University; Kita 12, Nishi 6, Kita-ku, Sapporo 060-0812, Japan; ^bBiomedical Research Institute, National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST); Central 6, 1-1-1 Higashi, Tsukuba, Ibaraki 350-8566 Japan; and ^cDepartment of Pharmaceutical Services, Hiroshima University Hospital; 1-2-3, Kasumi Minami-ku, Hiroshima 734-8551, Japan.

2. 略語

抄録、本文それぞれの初出時にスペルアウトし、直後に略語を () 内に示し、以下略語を用いてください。スペルアウトしないで使用できる略語は次のとおりです。

ADP (adenosine 5'-diphosphate), AIDS (acquired immunodeficiency syndrome), AMP (adenosine 5'-monophosphate or adenylic acid), ANOVA (analysis of variance), ATP (adenosine 5'-triphosphate), cAMP (adenosine 3', 5'-cyclic monophosphate), cDNA (complementary DNA), CoA (coenzyme A), CYP (cytochrome P450), DNA (deoxyribonucleic acid), ED₅₀ (50% effective dose), ESR (electron spin resonance), FAB-MS (fast atom bombardment mass spectrometry), FAD (flavin adenine dinucleotide), GC-MS (gas chromatography-mass spectrometry), GLC (gas-liquid chromatography), GMP (guanosine 5'-monophosphate), HPLC (high-performance liquid chromatography, high-pressure liquid chromatography), IC₅₀ (inhibitory concentration, 50%), IR (infrared), LC (liquid chromatography), LC/MS (liquid chromatography/mass spectrometry), LD₅₀ (50% lethal dose), mRNA (messenger RNA), MS (mass spectrum), NMR (nuclear magnetic resonance), OTC (over the counter), PCR (polymerase chain reaction), QOL (quality of life), RNA (ribonucleic acid), RT-PCR (reverse transcription polymerase chain reaction), TLC (thin-layer chromatography), tRNA (transfer RNA), UV (ultraviolet), WHO (World Health Organization)

3. 単位

length (m, cm, mm, μ m, nm, Å), mass (kg, g, mg, μ g, ng, pg, mol, mmol), volume (L, mL, μ L), time (s, min, h, d), temperature (°C, K), radiation (Bq, dpm, Gy, Sv), concentration (M, mM, mol/L, mmol/L, mg/mL, μ g/mL, %, % (v/v), % (w/v), ppm, ppb)

4. スペクトル、元素分析等の記載例

¹H-NMR (CDCl₃) δ : 1.25 (3H, d, $J=7.0$ Hz), 3.55 (1H, q, $J=7.0$ Hz), 6.70 (1H, m). ¹³C-NMR (CDCl₃) δ : 20.9 (q), 71.5 (d), 169.9. IR (KBr) cm⁻¹: 1720, 1050, 910. UV λ_{\max} (EtOH) nm (ϵ): 241 (10860), 288 (9380). UV λ_{\max} (H₂O) nm (log ϵ): 280 (3.25). FAB-MS m/z : 332.1258 (Calcd for C₁₈H₂₀O₆: 332.1259). MS m/z : 332 (M⁺), 180, 168. [α]_D²⁵ -74.5 ($c=1.0$, MeOH). Anal. Calcd for C₁₉H₂₁NO₃: C, 73.29; H, 6.80; N, 4.50. Found: C, 73.30; H, 6.88; N, 4.65.

5. 命名法

化合物の命名は、IUPAC 制定の命名規則に従ってください。Chem. Abstr. の索引の命名法並びに Ring Index の命名法に準ずることもできます。

6. 引用文献及び注記

引用文献は、雑誌掲載論文、書籍・単行本、インターネット、技術報告、特許、講演等とします。これ以外は文章的な記述としてください。出現順に通し番号 (引用文献 1 件ごとに 1 つの番号とします) を付け、文中右肩に右片カッコ付きのアラビア数字で示し、番号順に並べて REFERENCES として論文末尾に一覧表示してください。雑誌名の略称は Chem. Abstr. (参照: The ACS Style Guide. A Manual for Authors and Editors) に準じます。和名の場合のみは、ローマ字表記にしてください。

(例)

- 1) Okuyama E., Gao L.-H., Yamazaki M., *Yakugaku Zasshi*, **110**, 834-838 (1990).
- 2) Yamazaki M., Maebayashi Y., Iwase N., *Chem. Pharm. Bull.*, **36**, 2075-2078 (1988).
- 3) Keilhauer G., Faissner A., Schachner M., *Nature* (London), **316**, 728-730 (1985).
- 4) Kawai S., Tanaka S., "Encyclopedia of Experimental Chemistry, Vol. 17, Reaction of organic compounds I," ed. by The Chemical Society of Japan, Maruzen Co., Ltd., Tokyo, 1963, pp. 1-243.
- 5) Cruickshank R., Duguid I. P., Marmion B. P., Swain R. H. A., "Medical Microbiology," 12nd ed., Vol. III, Churchill Livingstone, New York, 1975.
- 6) Szejtli J., "Cyclodextrin Technology," ed. by Davis J. E. D., Kluwer Academic, Dordrecht, 1988.
- 7) Tokuda H., Ichiishi E., Onozuka M., Yamaguchi S., "Biology of Nitric Oxide, Part 6," Vol. I Chap. 2, ed. by Moncada S., Tada N., Maeda H., Portland Press, London, 1998, pp. 185-186.
- 8) Brunner A., Greune H., U.S. Patent 1910462 (1933) [*Chem. Abstr.*, **27**, 4092-4096 (1993)].
- 9) Mochizuki M., Inami K., Abstracts of papers, the 119th Annual Meeting of the Pharmaceutical Society of Japan, Tokushima, March 1999, No. 2, p. 79.
- 10) International Organization for Standardization. "How ISO develops standards.":
(http://www.iso.org/iso/about/how_iso_develops_standards.htm), cited 25 August, 2008.

引用文献の記載には、著者名は全員を記し、first 及び middle name のイニシャルを記載してください。

IV. X線結晶解析

結晶解析による構造が論文において重要な部分を構成するときには、審査のための補助資料として Cambridge Crystallographic Data Centre (CCDC) に登録するに必要なデータを添付してください。結晶解析が補助的に用いられている時には crystal data (unit cell parameters, space group, Z density), R-factor を記してください。Atomic coordinates は、構造が重要なときに印刷されます。また、Bond lengths and angles, thermal parameters, torsion angles 等は論文の議論にとって重要な時に印刷されます。論文が採用の場合は、CCDC 登録をしてください。

V. 核酸塩基配列

新規の核酸塩基配列は DDBJ, GenBank あるいは EMBL いずれかのデータベースに登録してください。論文が採用の場合は、accession number を本学会へお知らせください。論文出版の際には、配列情報が開示されている必要があります。accession number は論文の脚注に記載されます。

VI. 天然物及び天然物由来の未精製抽出物

天然物及び天然物由来の未精製抽出物 (Natural Products and Crude Extract Materials; NP/CEM) に関する研究においては、NP/CEM の起源及び抽出法等の完全な記載が必要です。詳細は電子投稿システムの中の「Guidelines/Checklist for authors submitting papers dealing with Natural Products and Crude Extract Materials (NP/CEM)」に記載されています。仮に天然物由来の未精製抽出物が漢方や中国伝統医学に従って作成されたものでも「Guidelines/Checklist」に従って投稿論文を作成する必要があります。

VII. 倫理指針

1. 人体並びにヒト組織を対象とした論文は「ヘルシンキ宣言」(<http://www.wma.net/en/30publications/10policies/b3/>) の倫理基準に、また臨床研究に関する論文は「臨床研究に関する倫理指針」(<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/kousei/i-kenkyu/index.html#4>) に、ヒト遺伝子に関する論文は「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」(http://www.lifescience.mext.go.jp/bioethics/hito_genom.html) に従って下さい。いずれの場合も所属機関の倫理委員会の承認を得て実施されたものに限り投稿を受け付けます。なお、当該論文がこれらに従って実施されたことを本文中に明記すると共に倫理委員会による承認書のコピーを添付してください。
2. 動物を対象とした論文は、所属機関の定める動物実験ガイドラインのみならず文部科学省など公的機関の策定したガイドラインに従って実施されたものに限り投稿を受け付けます。なお、当該論文はこれらのことを本文中に明記してください。

VIII. 利益相反

投稿に際しては、利益相反 (Conflict of Interest: COI) に関する情報開示が必要です。著者は、投稿論文において研究の遂行や、論文の作成にバイアスをもたらす可能性がある全ての利益関係 (金銭的・個人的関係) を開示してください。

開示が必要とされる利害関係：

- 1) 営利団体 (企業) からの研究助成金、寄附講座に関する寄附金の受領
- 2) 営利団体 (企業) からの謝礼
- 3) 特許権使用料・ライセンス料
- 4) 雇用、顧問契約など
- 5) その他の報酬 (旅費や贈答品等) の供与

利益相反に関する情報開示は、本文の最後 (引用文献の前) に「利益相反」と見出しを付けて記載してください。著者全員に利益相反が無い場合は、「開示すべき利益相反はない」と記載し、利益相反のある著者がいる場合は、その氏名とその利益相反について全て列挙してください。

(例)

例1：鈴木一郎 (AB薬品株式会社の社員) 例2：山田太郎 (CD製薬株式会社からの研究助成を受領) 例3：山田二郎 (EF製薬株式会社からの寄附金で設置した寄附講座教授) 例4：鈴木花子 (GH薬品株式会社からXX薬品の供与) 例5：佐藤次郎 (IJ製薬会社の顧問) 例6：山田花子 (KL製薬会社のYY薬品の宣伝のため謝金を受領) 例7：鈴木二郎 (特許 (JP Patent 12345) の使用料をMN薬品株式会社から受領) 例8：鈴木三郎 (ZZ学会への参加旅費をOP製薬会社から受領) 例9：山田一郎 (開示すべき利益相反はない)

IX. 審査

1. 投稿論文は、原則として2名以上の審査員の評価に基づき編集委員会が採否を決定します。
2. 原稿の改訂を求められた際には、修正依頼日から2ヶ月以内に改訂原稿を提出してください。2ヶ月を経過した場合には、審査打ち切りとなる場合があります。

X. 費用

1. 投稿手数料 新規投稿 1 件あたり 3000 円（日本国内在住者は消費税含む）
2. 掲載料 刷り上り 1 頁あたり 5000 円
3. 別刷料

刷上頁	1～2頁	3～4頁	5～6頁	7～8頁	9～10頁	11頁以上
50部	8000円	9000円	10000円	11000円	12000円	13000円
100部	14400円	16200円	18000円	19800円	21600円	23400円
150部	19200円	21600円	24000円	26400円	28800円	31200円
200部	22400円	25200円	28000円	30800円	33600円	36400円
250部以上	単価110円	単価120円	単価130円	単価150円	単価160円	単価180円

- 送料込み
- 購入の際は50部単位

- カラー印刷1頁につき、1部80円増
- 表紙は1部30円(希望者のみ).

4. カラー印刷費用（1 頁あたり 50000 円）等、特別に派生した費用は、実費加算とします。
5. 英文チェック料 英文チェックを本学会で行った場合は、実費を請求します。

料金は予告なしに変更されることがあります。なお、表記の金額に消費税は含まれておりません。

XI. その他

1. 審査終了後に原則として著者名の追加、削除及び順番を変更することはできません。
2. 著者校正時の誤植以外の追加や書き改めは認められません。
3. 著作権 本誌に掲載された論文はいかなる形式で公表される場合においても、その著作権は日本薬学会に帰属します。著者は掲載決定後、所定の著作権譲渡承諾書を本学会宛に提出してください。

（施行 平成28年10月1日）